



2025年3月14日

各 位

会 社 名 センコーグループホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 福田 泰久  
(コード番号 9069 東証プライム市場)  
問合せ先 広報・IR担当執行役員 吉村 伸三  
(TEL. 03-6862-8842)

### 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、2023年6月28日に公表しましたとおり、資本コストや株価を意識した経営の実現に取り組んでまいりました。

その中で開示いたしました当社の方針・目標および取組み・実施時期に変更はありませんが、投資家の皆様に当社の現状認識および取組み内容をより深くご理解いただくため、本日開催の取締役会において、開示内容のアップデートを決議しましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

当社は、さらなる企業価値向上に向けて、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画に掲げた目標の実現に、今後も邁進してまいります。

以 上

# 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について（アップデート）

2025年3月14日

 **センコーグループホールディングス株式会社**

「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けて

## 企業価値向上に向けた取り組みの全体像 関連する施策の方向性

①

- ・ 企業価値向上に寄与する要因を分析し、取り組む方向性について
- ・ 企業価値向上のための具体的なアプローチについて

②

- ・ 取り組む方向性の一つとして、ポートフォリオ管理を掲げ、当社グループが注力する事業の方向性、取り組む背景・事例について

③

- ・ 事業に供する資金調達と資金使途（キャピタルアロケーション）の方向性について

収益性、資本効率性を高め、財務の健全性を保ちながらROEを向上させるとともに、成長戦略の発信を強化し、**継続的な企業価値の向上**を目指す



## ミッション（普遍的な使命）

人を育て、**人々の生活を支援する企業**グループとして、物流・商流事業を核に、未来を動かすサービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します



## (1) 事業の方向性

### 事業領域拡大の背景

- ① 当社は各社・各部門が新たな事業を創出し成長をけん引  
**(チェンジ&チャレンジの精神)**
- ② 日本は少子高齢化が進み、国内物量は徐々に減少、ビジネスのあり様も変化していく
- ③ 当社従業員の働きやすい環境を整備(託児所、介護施設等開設)
- ④ 労働人口減少

経営環境の変化が激しい中、以下の基本的な方向性に基づき、  
社会や顧客ニーズに対応した最適なポートフォリオを構築し、持続可能な成長を目指す

**既存事業のシェアアップ・海外展開**

+

**新たな成長事業の育成**

### 非物流事業の方向性

- ① 「物流」を祖業とする当社が  
**「物流」起点でサプライチェーン上の関連事業・周辺事業**を拡大
- ② **多様化された社会の実現**に向けた、外国人・高齢者・女性活躍に寄与する事業  
**働きやすい社会の実現**に向けた、子育て・介護・家事等の生活支援に寄与する事業
- ③ 既存のポートフォリオ(セグメント)の収益向上、効率化に寄与する**事業基盤の拡充**

## (2) M&A対象企業（事業）の考え方

- ① 物流事業の業界内でのシェアアップ・海外展開
- ② 物流関連事業（物流機器販売、ビジネスサポート(人材確保・物流システム)等)
- ③ 物流に課題を抱える企業（物流改善による収益向上）
- ④ 多様化、人々の生活支援に寄与する事業

## (3) 事業ポートフォリオの運営・管理

- ① 取締役会での定期的な議論
- ② 投資委員会での投資効率の検証
- ③ 企業理念、長期ビジョンとの整合
- ④ 物流事業間や他事業との関連検証(次ページ実績事例参照)
- ⑤ 収益改善が難しい事業の撤退・売却の検討

## (4) 物流事業間や他事業との関連実績例

### 1. 物流事業間の 取り組み

- ① 冷凍冷蔵物流の顧客のドライ製品物流の取り込み(食品メーカー)
- ② 国内顧客の海外進出支援
- ③ 国内顧客のモーダルシフト(船舶輸送)推進

### 2. 物流関連事業の 取り組み

- ① 貿易事業(国際物流関連の商流事業の取り込み)
- ② 物流の顧客に対する家庭紙の販売(小売)
- ③ ビジネスサポート(不動産、人材派遣、物流情報システム、物流コンサル等)事業
- ④ 商事事業(物流機器・包装資材販売等)

### 3. 人材確保の 取り組み

- ① 人々が働ける環境づくり(介護・保育・クリーニング等)
- ② 物流現場への外国人労働者派遣
- ③ 当社グループの人材育成、教育(クレフィール湖東等)

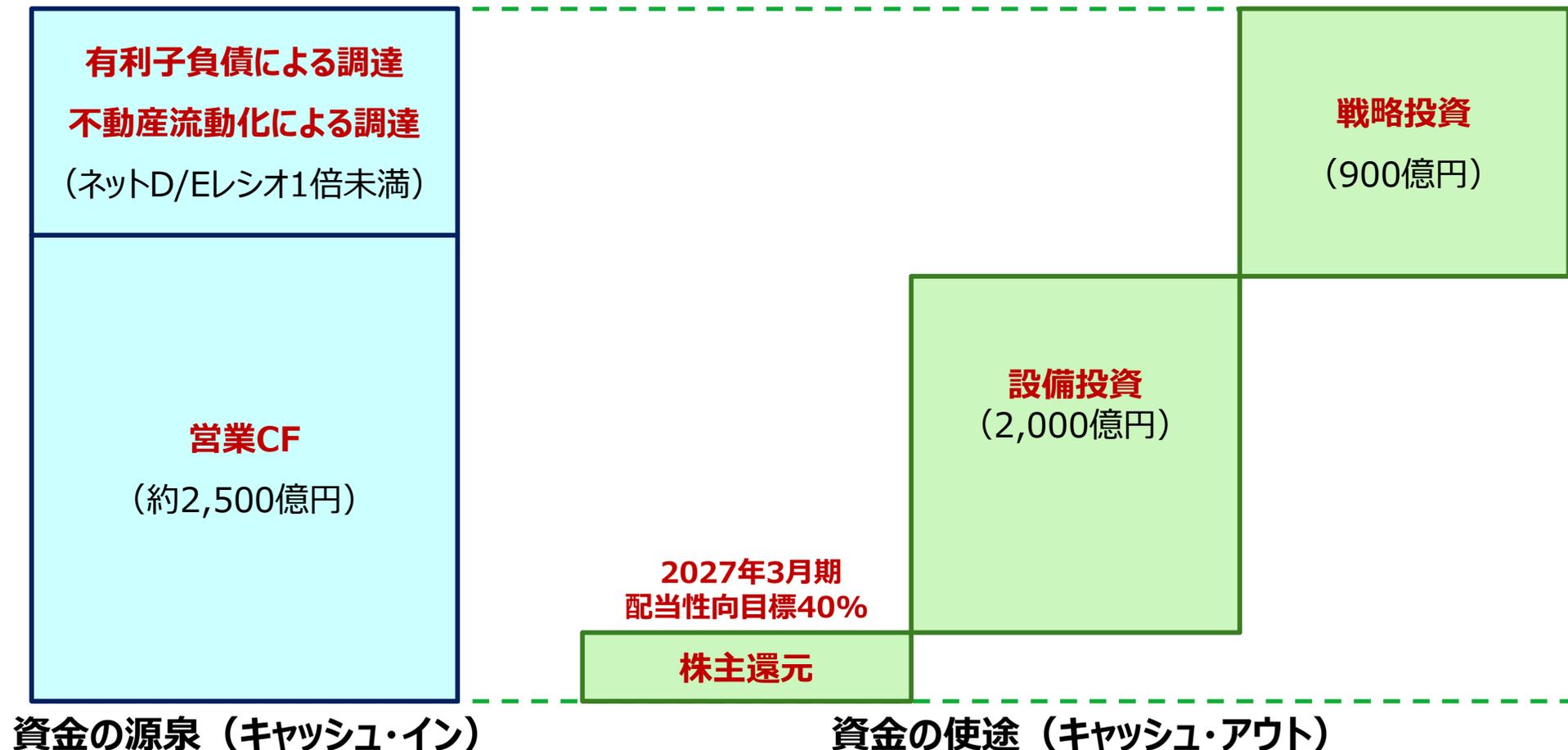
### 4. 物流改善による 収益性向上

- ① 商事事業の物流事業の取り込み
- ② 紙卸3社の物流統合の取り組み(推進中)
- ③ プロダクト事業の物流改善の取り組み(推進中)



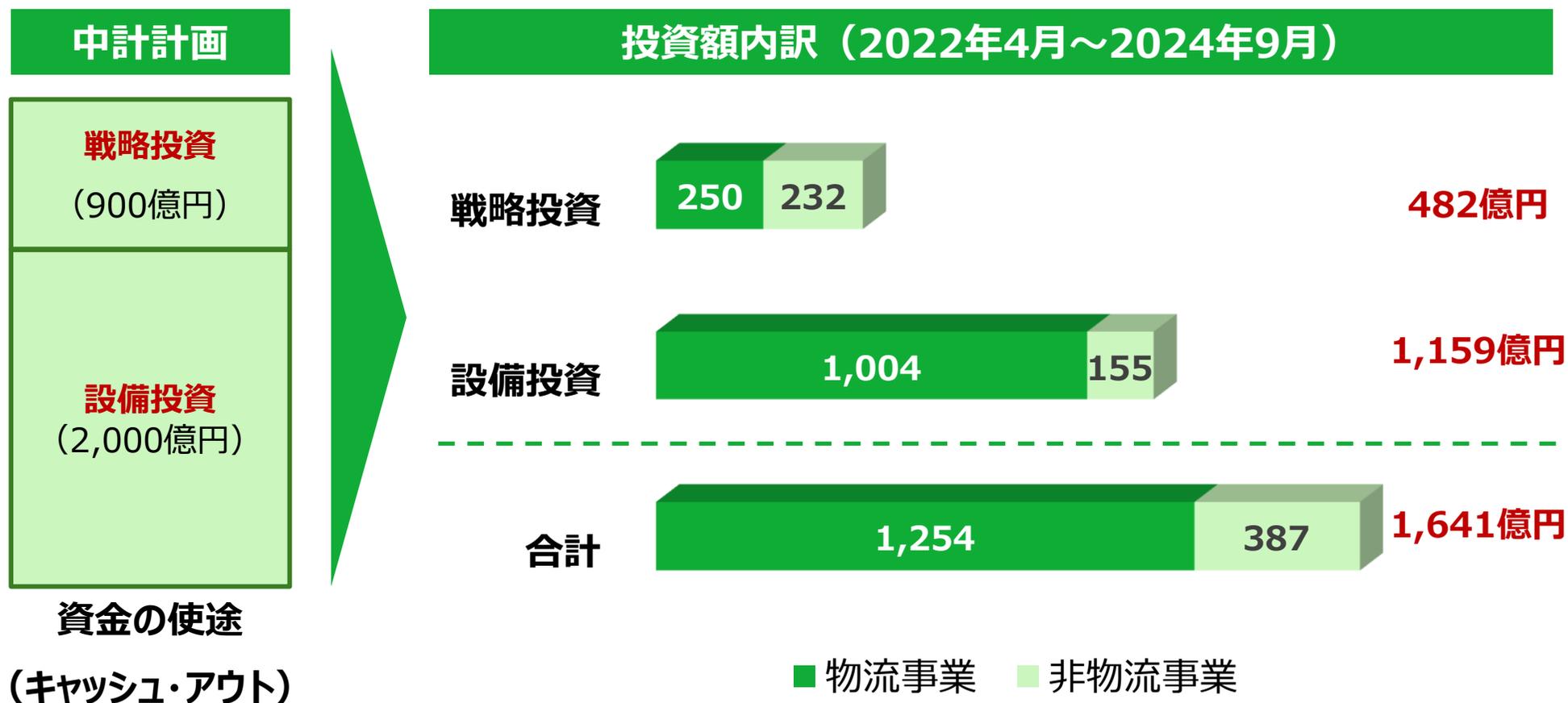
継続的な取り組みの強化・深化により**グループ内シナジーを最大化**

- ・ 現中期経営計画で、**安定的な配当資金を確保しながら、設備投資2,000億円・M&Aなどの戦略投資として900億円の投資**を計画。
- ・ 必要資金は、営業CFに加えて、**有利子負債と保有不動産の流動化等により確保**する方針  
(ネットD/Eレシオ1倍未満の財務健全性を確保)



## 資金使途内訳

- ・ 2,000億円の設備投資計画に対して**1,159億円の投資を2024年9月末までに実行済み**
- ・ 大型物流センターへの投資に加え、車両勢力の増強・維持更新、省人・省力化機器の導入を中心に投資を実行中
- ・ 戦略投資は、**物流事業のM&Aに250億円、非物流事業のM&Aに232億円の投資を実行済み**



# Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

- ・ 本資料に掲載されている目標数値および将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。